

経営発達支援計画

H29年度 伴走型小規模事業者支援推進事業

# 地域経済動向調査レポート

～京丹後市版～

(平成29年7月～9月期調査)

京丹後市商工会

～概ね全体的に改善が見られるも、業況は依然低調水準で業種間の格差大きい市内産業～

## <調査概要>

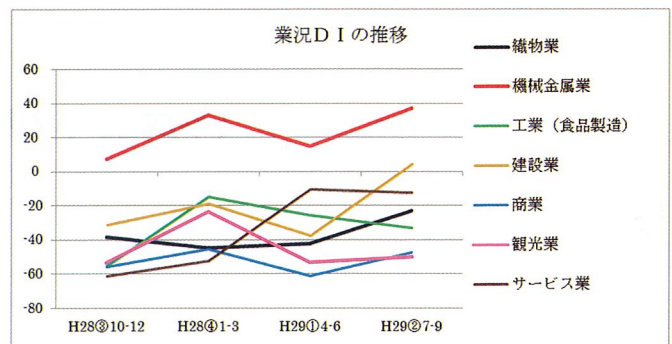
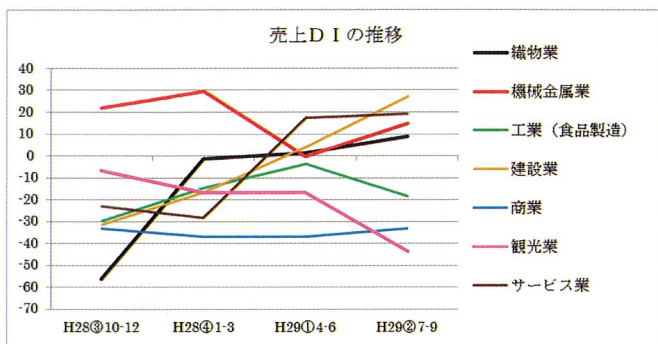
調査対象:地域内の小規模事業者等105件

調査期間:2017年7月～9月

調査方法:当商工会経営支援員による巡回ヒアリングによる調査票への選択記入式

### <産業全体> 概ね全体的に改善が見られるも業況は依然低調水準で業種間の格差大きい市内産業

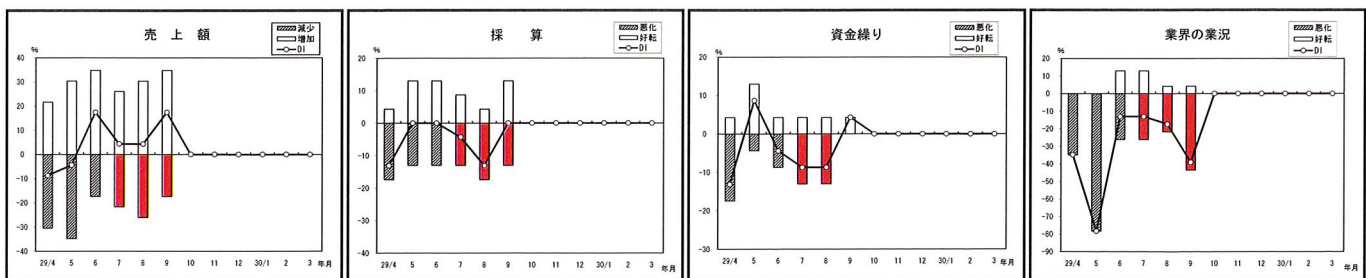
7月～9月の小規模企業景気動向調査は、前四半期(H29.4～6月)と比較して、全ての項目(平均値)において6.8ポイントの改善が見られた。しかし、売上DIでは工業、観光業、業況DIは工業、サービス業が悪化した。改善幅が最も大きかった業種は、建設業で全項目平均で20ポイント以上復調した。機械金属業は特に業況DIで高水準をキープしており、他の産業を牽引する傾向となっている。



※上記グラフは、前々四半期、前四半期の該当DIの平均値を算出しグラフ化したもの

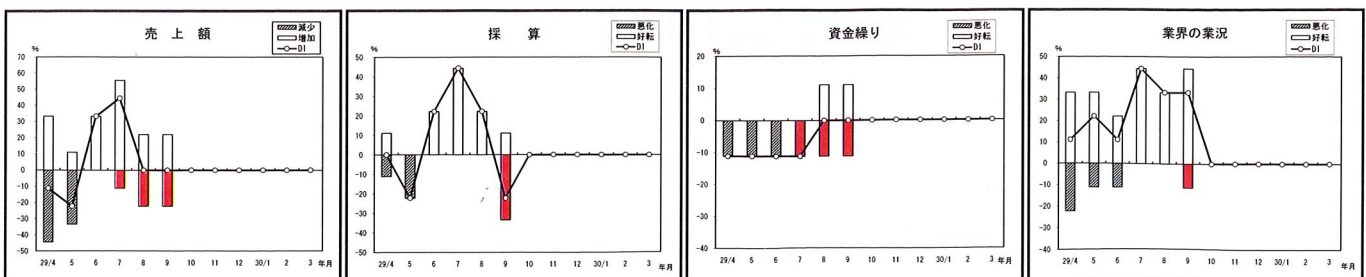
### 織物業 売上、業況DIが2期連続改善するも、依然業況感は低水準を推移し、人手不足強まる織物業

織物業の売上DI、採算DI、資金繰DIは一時落ち込むも改善傾向となった。前四半期(平均値)との比較では、売上DI、業況DIは2期連続で改善(平均13ポイント)を示した。経営支援員からは、原材料の高騰、人手不足などといった後ろむ向きのコメントが多く、依然、景況感は低水準で推移している一方、受注量が安定してきており、生産体制強化の動きにより売上が好転したといった前向きなコメントの報告が増加している。



### 機械金属業 業況は高い水準で推移し他の業種を引っ張るも、原材料の高騰と人手不足の機械金属業

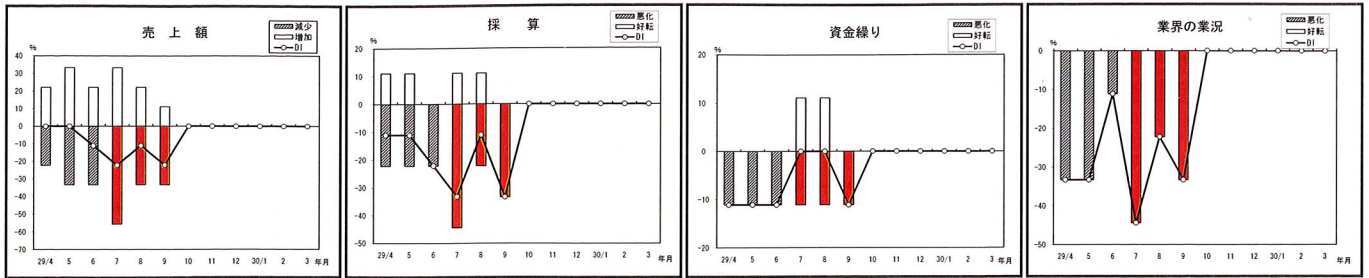
機械金属業の売上DI、採算DIは7月に入り大幅な改善を示し、前四半期(平均値)比較でも、全ての項目において平均14.8ポイントと大きく改善した。依然、業況は高い水準で推移し他の産業を牽引している。経営支援員からは、半導体関連が好調である一方、人手不足と原料高が続いているため、利益を圧迫し、少し陰りが見え始めたとの報告もあり、予断をゆるさない状況である。





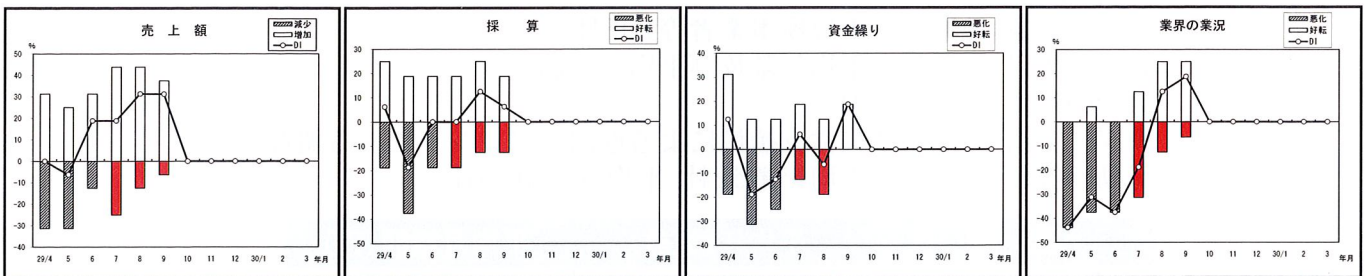
## 工業(食品製造) 原材料高騰が慢性化し利益を圧迫して、回復の兆し見えない工業(食品製造)

工業(食品製造)の業況のDIは、9月に入り悪化傾向に転じた。他の項目について、前四半期(平均値)と比較すると、資金繰りDIはわずかに改善するも、他の項目は、平均▲10.9ポイントと大きく悪化した。経営支援員からは、セット商品が好調の一方、原材料の高騰が続き、利益を圧迫している状況が続いているといった内容の報告が増加している。また、天候不良の影響で観光客等の客足が鈍ったとの報告もあった。



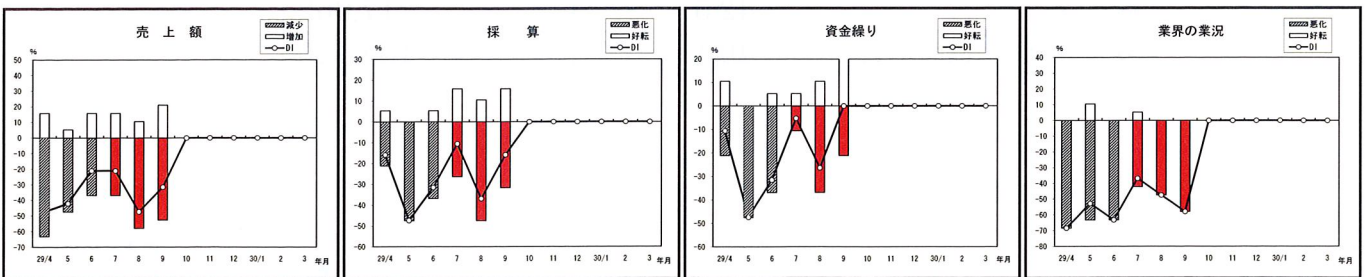
## 建設業 公共工事が動き出し大きく好転するも、業者間の格差広がり予断をゆるさない建設業

建設業は全ての項目において、前四半期に引き続き回復傾向となった。前四半期(平均値)と比較しても、平均21.9ポイントの大きな改善が見られた。業況DIは、8月に入り大きく好転し、好調をキープしている。経営支援員からは、公共工事が好調であるが、入札機会に恵まれた業者とそうでない業者で大きく異なっているとの報告があり、また、原材料及び外注費の高騰、人手不足は依然続いており、予断をゆるさない状況であるとの報告もある。



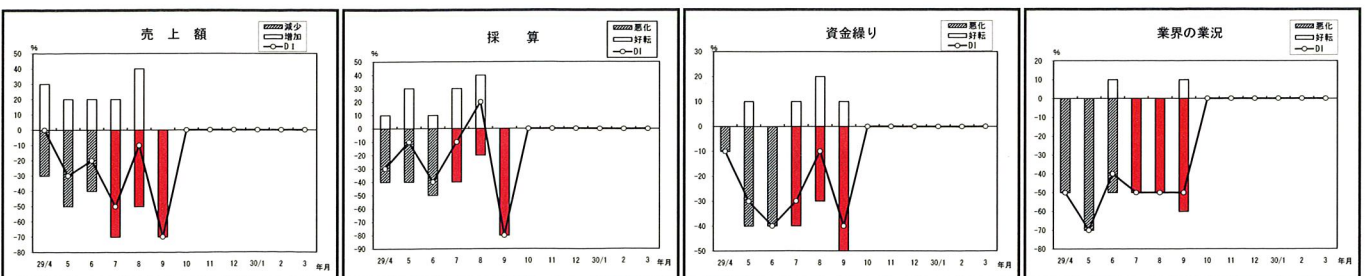
## 商業 購買人口の高齢化や大型小売店やチェーン店などの競争激化で苦戦が続く小売業

商業の業況DIは、本四半期に入り下降傾向であるが、前四半期(平均値)と比較すると、全ての項目において改善し、平均で11.8ポイントといった2桁改善を示している。経営支援員からは、一部の事業者では季節要因や高速道路の開通の恩恵を受け、一時的に売上額が増加するも、全体的に大型店やチェーン店との競争で苦戦が続く、高齢化による客単価の減少などにより、厳しい状況が今後も継続する見込みといった報告があった。



## 観光業 積極的な誘客戦略といった高まりが感じられるも、天候等に左右され効果見えない宿泊業

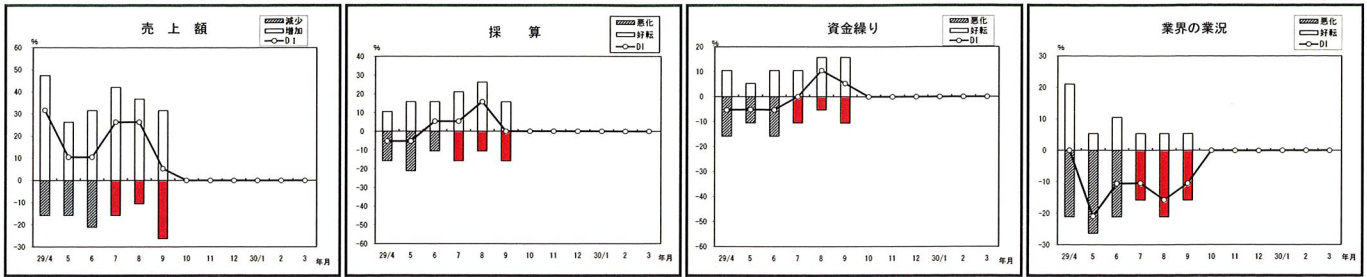
観光業の業況DIは、ほぼ横ばい。売上DIは、天候不順で集客見込みの大きいイベント等の中止も重なり、大きく落ち込み、それによって採算DI、資金繰りDIも同様に悪化を示した。前四半期(平均値)との比較では、売上DIは▲26.6ポイント悪化したが、採算DI、資金繰りDIは横ばいを示し、業況DIは、3.3ポイント小幅に改善した。経営支援員からは、積極的な誘致戦略等で外国人観光客の増加が目立つといったなどの好材料の一方、原材料の高騰、人手不足、設備の老朽化に伴う改装時期にきている施設が目立ち始めたとの報告があった。





## サービス業(飲食店) 売上、採算、資金繰りは2期連続改善示すも収益悪化で厳しい状況のサービス業

サービス業の業況DIは、ほぼ横ばいを推移しているが、前四半期(平均値)との比較では業況DI以外の項目は全て小幅に改善を示し、2期連続の改善(平均5.8ポイント)となった。経営支援員からは、一部地域の事業者は、前四半期に引き続き好調をキープする一方で、天候不順による客足が鈍った上、原材料の高騰等も重なって、厳しい経営を強いられているとの報告があった。



## 労働環境面調査

### <調査概要>

調査対象:地域内の小規模事業者等105件

調査項目:従業員の平均年齢及び平均月給額

対象期間:2017年9月

調査方法:当商工会経営支援員による巡回ヒアリングによる調査

有効回答数:従業員の平均年齢62社、平均月給額59社

業種	平均年齢(歳)	平均月給額(円)
産業全体	44.5	211,143
織物業	46.3	200,018
機械金属業	43.1	234,564
工業(食品製造)	46.3	200,000
建設業	44.6	259,583
商業	48.4	169,000
観光業	42.5	217,962
サービス業(飲食店)	40.1	188,120

